

ひだまり

2026 年 1 月号②

建交労女性部発行
東京都新宿区百人町 4-7-2
TEL 03 (3360) 8021

第 26 回 女性部大会

～職場の実態や組合活動 語りたいこと 満載～

11 月 9 日東京の中央本部で開催、10 都府県から 28 人が参加しました。井上女性部長の挨拶に続いて、角田前部長が挨拶、アイスランドの映画「女性の休日」では 1975 年に女性たちが家事・育児をやめてストライキを起こし、それを起点にアイスランドではジェンダー平等社会へと実現していく様子を紹介しながら、建交労が作った「わたしの宝」というビデオメッセージも活用して、女性部運動をすすめていってほしい、と発言されました。

山本事務局長の経過、方針案提案などのあと、各地からとりくみの報告がありました。

京都では、育児介護休業法やふるさと納税の学習会、憲法宣伝、女性ドライバー交流会など工夫を凝らしたと発言がありました。埼玉、長野、徳島からは学童指導員が参加、そのうち、長野では、3 名の男性が組合加入、そのきっかけは賃金改善要求ではなく、自分たちの仕事を深めるための学習がしたい、実践力アップを期待しているということを知り、今後の拡大についてよい気づきとなったと発言がありました。愛知、兵庫からは会計年度任用職員としてはたらく仲間が参加、愛知保育パートのたたかいや、西宮ではパート職員の勤務時間延長を勝ち取った報告などがありました。

役員体制では、京都の坂田さんが退任、かわって森谷さんが女性部委員になり、井上女性部長はじめ 10 名の役員が信任されました。



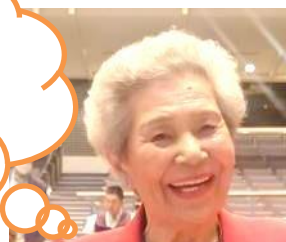
↑上から井上女性部長、角田元女性部長、山本事務局長、議長の廣川さん（東京）と
佐々木さん（京都）



↑前列 尾崎さん、粕川さん
↓永島さん、金丸さん、新役員森谷さん



まだ現場（公園清掃）に出
とるよ～！一生懸命生き
て、働くことが大事！
またみんなで広島に
きんしゃい、待っとるよ



98 才の廣木昭代さん（広島）は、ご自宅と会場を電話でつなぎ、マイクを通して参加者に激励メッセージを送っていただきました。廣木さんの声が流れるとみんな大拍手！

★総理大臣が高市さんと決まった時から「女性部の方たちはどう思っているんだろう、大会が楽しみだな」と思っていました。案の定お話が出てご意見が聞け、なるほど～と勉強になりました！無知の怖さを知りながらもなかなか自ら政治や日本の情勢の学びをする機会が持てず、毎年この定期大会で刺激を受け、検索したりニュースを読んだりすることへと繋がっています。みなさんの職場や組合の取組など熱い想いを受け力をいただきました（長野・小穴）

★組合歴15年ぐらいですが、女性部の会議に初めて参加しました。視点や考え方は当然違うはずなのに、そういう事をあまり気にしてこなかったのだと改めて感じました。そして気に留めない社会が差別や格差を産んでいるのかなとも思いました。当たり前だと思っている事をそのままにせず、より良くなるよう対話をしていく事をこれからも大切にしていきたいと思います。長野の小穴さんの話で、自分の仕事に対してより知りたい、勉強したいと思っている若い人達はまだまだいる事を知りました。組合員拡大には賃金改善を訴えていく事だけでなく、自分達の仕事について学習したり深め合ったりしながら力量を高めていく組合の良さもこれからは伝えていって、拡大オルグを頑張っていきます。広島ヒロキさんの「働いて周りの方と元気に頑張る」の言葉を忘れずに、これからも自分の現場だけでなく組合や地域の指導員さん達と一緒に元気に頑張っていきます。

（愛知・加藤）



↑上段 太田さん（埼玉）、加藤さん（愛知）
下段 浜田さん（愛知）、栗田さん（京都）



★小島さんは、退任する坂田さんの記念品を選び注文、発送、当日「おつかれさまでした」と贈りました。

★体調不良で欠席の磯野さん提供の長野のリンゴを、小島さんと秋月さんが皮をむき、みんなでいただきました。

夜の 交流会

高田馬場駅近くの中華料理店にて
乾杯の音頭は秋月さん



↓集合写真

↑交流会の様子



↑宇津井さん、小川さん、国賀さん、北條さん



細見さん、江部さん

小穴さん



26期女性部委員

部 長	井上 玉紀	（徳島）
事務局長	山本 由里子	（本部）
次 長	江部 明子	（東京）
委 員	渋谷 ひろみ	（埼玉）
委 員	永島 公美	（新潟）
委 員	廣瀬 久子	（愛知）
委 員	森谷まゆみ	（京都）新
委 員	金丸 涼子	（大阪）
委 員	小島 マリ子	（兵庫）
委 員	秋月 のり子	（福岡）

平和フィールドワーク 靖国神社と遊就館

戦争を美化する
軍国主義の象徴

大会前日の11月8日、靖国神社と遊就館のフィールドワークをおこないました。ガイドは元社会科教員（東京）の東海林次男さんです。

前半は説明を受けながら靖国神社境内を巡りましたが、遊就館内はガイド付きの観覧を認めていません。「お国のため」死ぬ、人を殺すことを英雄視する展示を批判的に見ることを難しくしています。6月に広島フェスタで学んだ戦争の悲惨さとは逆側からの展示に、改めて歴史を学ぶことの重要性をしみめるフィールドワークとなりました。



★私は靖国神社へは初めてで、あの高市首相は8回行ったそうです。靖国神社は戦死者を英霊としてあがめている所で、遊就館1階にゼロ戦が展示してあり特攻と云う非人道的な戦法へ使用されたもので、特攻隊員や送り出す母親の立場になってしまい胸が締め付けられる思いでした。失業と貧乏と戦争反対している私たち、玉串料5,000円払って平和を願うところではないと感じました。全く興味がなかった場所ですが、一度は行った方が良くいのではないかも思いました。（兵庫・小島）



女性部
とりくみ
あれこれ



全労連女性部第36回定期大会に参加



2025年9月13～14日に開催、代議員として井上部長、秋月さん（福岡）、廣瀬さん（愛知）が、埼玉県労連女性部代議員として渋谷さんが参加しました。大会1日目終了後にはお茶の水駅前の宣伝行動と交流会もありました。

第70回はたらく女性の中央集会在愛知に参加



2025年11月13～14日愛知で開催され、建交労はスタッフとしても大奮闘！物販は廣瀬さんや尾崎さんら、分科会受付には角田さんと石村さん（労職部会）、運営委員として山本さんなど。全体会ステージに登壇し訴えたのは保育パート支部と学童保育支部のみなさん。徳島から井上部長とすぎのこ保育園分会の森本まゆみさんが参加しました。

女性部 2026春闘「ジェンダー平等」

ジェンダー平等をめざして各職場会議・集会等で討議し、春闘要求書の作成と提出、団体交渉を行いましょう。「ジェンダー平等宣言」の学習会を行いましょう。

《今後の予定》

- 2月16日（月） 第1回女性部委員会（東京・本部）
- 3月5日（木） 女性部菜の花行動（東京）
- 3月6日（金） 各職場・地域で「女性の休日」
- 3月8日（日） 国際女性デー中央・地域集会

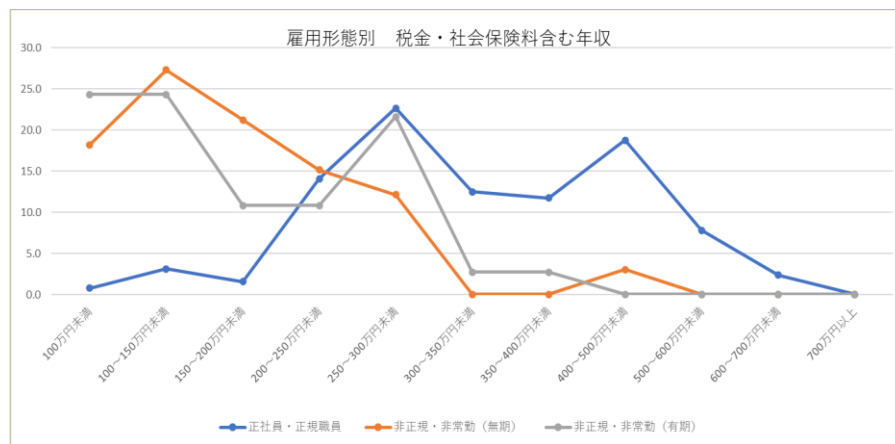
建交労女性労働者の労働実態、男女平等・健康実態調査の結果

概要

建交労女性部では、全労連女性部の呼びかけに応じ 2025 年の 4 月から 8 月にかけて「健康・労働実態及び雇用における男女平等調査」「妊娠・出産・育児に関する実態調査」を行いました。**全国のなかまのみなさんから、労働実態調査については 224 人、妊娠出産育児については 20 人の回答を集めることができました。ご協力ありがとうございました。**全国の女性労働者の集計は全労連から発表がありますが、今回は建交労女性部の結果概要をお知らせします。(文責／山本)

【健康・労働実態及び男女平等調査の回答の概要】(%は全て無回答除く率)

- ◆職種「一般事務」20.5%、「運輸・交通関係」16.8%、「学童保育」16.4%、「清掃」12.3%の順。
- ◆雇用形態「正規」57.4%、「非正規」(有期)16.6%、「非正規」(無期)14.8%、「派遣」2.7%
- ◆年収は正規で「250 万～300 万円」22.7%、非正規(無期)で「100 万～150 万円」が 27.3%、非正規(有期)で「100 万～150 万円」が 24.3%と最大を占めている。
- ◆非正規労働者では全体の 60%が 200 万円以下と回答している。
- ◆年休について「ほとんどとれない」が正規で 11.7%、「年休がないと言われた」が非正規で 3%いた。



た。年休を 1 日も使わなかったが全体の 9.4%いた。

◆家族のために 1 週間以上の看護・介護が必要になった時、介護休業や短期介護休業をとった方はおらず、年休で対応した人が 39%、退職したという方が 4%いた。

◆今の健康状態について、「やや不安がある」「大変不安がある」「加療中」を合わせると 61%となった。

- ◆具合が悪くても休めなかったことがあると回答した人が全体の 44.7%いた。
- ◆生理休暇についての質問で、非該当者を除くと「とっていない」と回答した人が 85%にのぼった。
- ◆職場に対する切実な要求では、「賃上げ」72.2%が突出しており、「人員増」42.9%、「休日・休暇の増加」が 20.5%と続いた。
- ◆職場でハラスメントを受けたかどうかについて、「適切でない表現で指示・指導」(人格否定、差別的発言、怒鳴るなど)が 11.6%、「言葉によるセクハラ」が 11.2%あった。
- ◆ハラスメントの対処では「同僚・友人に相談」が 38.8%、「上司に相談」が 31.3%、「誰にも言わずに堪えた」が 26.9%。結果、ハラスメントが「解決した」が 34%、「解決しなかった」が 44%だった(「妊娠・出産・育児に関する実態調査」については母数が少ないため概要を省略します)

職場への切実な要求 (選択 3 つ以内)

